

わたしのまちの教育委員 [第2回]

文京区には4名の教育委員がおり、日々活動をしています。教育委員にはどんな人がいて、どんなことをしているのでしょうか。シリーズ第2回目となる今号では、区内にある日本女子大学理学部教授でもある小川賀代委員にインタビューを行いました。理科を好きになる方法についても教えていただきました。皆さん必見です！

子どもたちの教育を支えることを考える

🔍 教育委員に就任して感じた区の魅力を教えてください。

教育委員に就任して、現場の様子を知る機会がとても多く、先生方がきめ細かに熱心な教育を行っていることや研究会などで将来に向けた教育研究を行っていることを知ることができました。

保護者の方もそれを熱心に支えていることも垣間見えましたし、PTA活動を通して、自分たちも先生と一緒に教育に関わっていきたいという姿勢も多々感じています。地域の方も積極的に関わっていきこうとしていて、子どもたちを中心として先生・保護者・地域みんなで支える、そういった環境が整っているところが文京区の魅力だと感じました。

🔍 教育委員として心がけていることはありますか？

現在、私には小学校3年生の子どもがいます。教育委員で“子育て現在進行形”は私だけになりますので、働く母親という立場と子育ての現場感の視点を持って様々なところで発言していければと思っています。

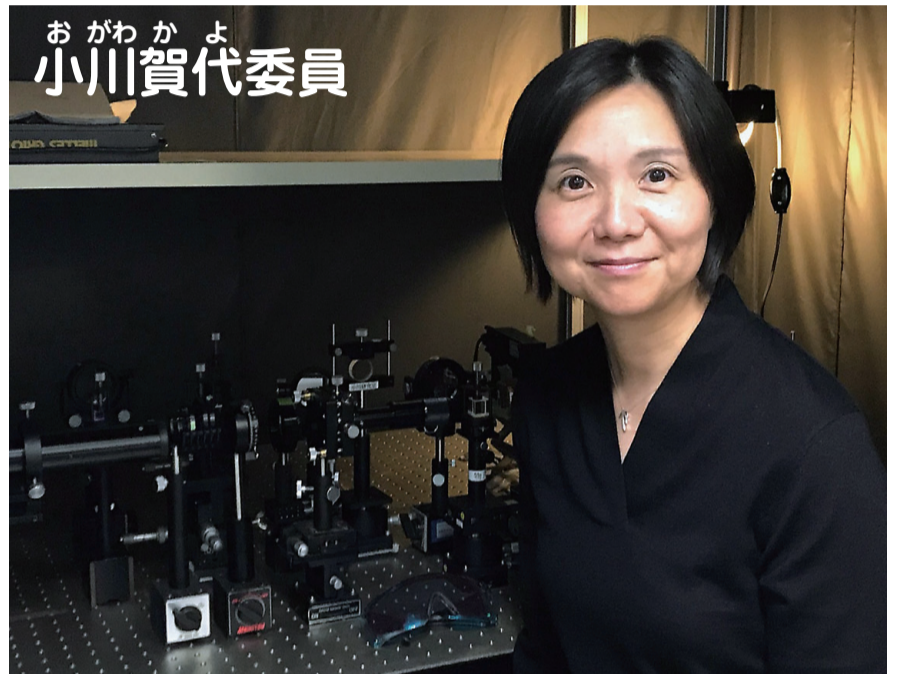
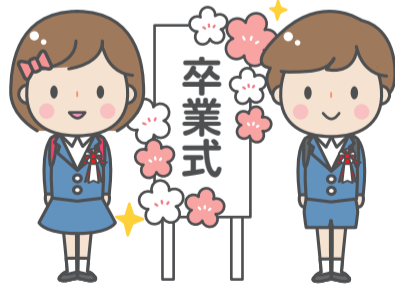
また、理系の教員でもあるので、小・中学校の理数系教育にも関心を持っています。最近世界的にSTEM教育^{*1}が推進されており、理数系教育の重要性は増すばかりです。文京区の教育センターで行われている「子ども科学カレッジ」や「科学教室」など、どのような内容を取り扱っているのかなどは気にかけています。

🔍 教育委員としてのやりがいを教えてください。

大学教員の仕事をしながら、一番醍醐味を感じるのは、入学してきた学生が内面的にも外面的にも立派になって卒業していく、その成長のお手伝いできたときです。

なので、教育委員として、小・中学校の卒業式や卒園式に参加させていただくようになって、みんなが誇らしげに巣立っていく日に立ち会えるのは本当に感動します。自分の子どもはそこにはいないけれど涙が出てしまうような。これが本当なんですよー。ただ、祝辞を読むのは緊張しますけどね(笑)。

そういった場に立ち会えるのも喜びですし、教育委員のお仕事は、そういった子どもたちの教育を支えることを考えさせてもらっているのが一番のやりがいだと思います。



おがわ かよ
小川賀代委員

プロフィール
静岡県出身。日本女子大学理学部教授であり、平成28年6月より文京区教育委員を務める。趣味は、日頃の疲れを癒すため、銭湯めぐりをする事。

「実験の神様」が降りてくることを信じて

🔍 どのような研究をされているのかを教えてください。

主に、レーザーを用いた光無線通信システムの研究をしています。レーザーというと、レーザーポインターから発振される点型の照射形状を思い浮かべるとは思いますが、実は色々な発振モード(種類)があります。

その中でも「ラゲールガウシアンモード」と呼ばれるモードを使って、通信品質向上のための研究を行っています。レーザーポインターのモードは、「ガウシアンモード」と呼ばれ、レーザー発振の基本的なモードになります。一方、「ラゲールガウシアンモード」は、高次の発振モードで、天候などの影響を受けにくいことが、シミュレーションや実験で分かっています。

最近、IoT^{*2}や5G^{*3}など、通信の高速化・大容量化が求められていて、新しい技術をどんどん取り入れようとしているところなので、複数の「ラゲールガウシアンモード」を重ね合わせることで、大容量化につながるのではないかと考えて研究しています。

2面に続きます。

※1 Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の頭文字をとった理工系分野の人材を育成するための教育モデル。

※2 Internet of Things(モノのインターネット)の頭文字で、自動車や家電など身の回りのあらゆるものがネットにつながるという考え方。

※3 第5世代移動通信システムの通称。LTE、LTE-Advancedのさらに次世代の高速移動通信方式。2020年の実用開始を目指して研究開発が進行中。

- 1 特集 わたしのまちの教育委員
- 2 図書館の魅力的な視聴覚コレクション

- 3 区立児童館を紹介します
小学校における「学びの教室」の拠点校が増えます
お茶いれ名人への道

- 3 学校給食おすすめレシピ「秋鮭わかめみそ焼き」
- 4 区立小・中学校、幼稚園を紹介します
編集後記

🔍 研究分野を専攻したきっかけは何だったのですか？

高校の特別授業の講演の中で、私たちが見ている世界は「可視光」という限られた領域だけであり、私たちの目では見えない違う世界があるという話を聞いて光の分野に興味を持ちました。

大学では、物理学を専攻し、3年生時の研究発表会で、ホログラフィという立体写真の技術に関する自由研究を行いました。三次元の画像を再生する仕組みとしてはシンプルですが、実験はなかなかうまくいきませんでした。

授業の実験は時間内に終わるのに、そこから外れた実験をしようとそう簡単にはうまくいかない。そこが面白かったんです。友達と2人で「〇〇がおかしいのかな？」と言って、そこを直してみる。うまくいくときもあれば、うまくいかないときもある。その試行錯誤する過程が面白く、朝から晩まで実験室にこもって実験していました(笑)。

何日もうまくいきませんでした。そんな世界にも神様がいて、締切間際になると「実験の神様」が降りてきて、結果が出るんです。その感動や達成感は、味わった者しかわからないものがあります。

スポーツなどでも一緒だと思いますが、一度そういう経験をすると同じような成功体験をもう一度したくなるんですよ。

学生にはそれを味わってもらいたい。そのプロセスは、どこでも役に立つと思います。また、理系の魅力は、こうした何か形になっていくところや、動き出すところ、物でなくても何かが改良されること、例えば、通信ができるようになるなど、「無のものから何かが生まれる瞬間」に立ち会うところにあると思います。

🔍 探偵みたいな気持ちになってほしい

🔍 理科が好きになる方法があればぜひ教えてください。

科学館や実験教室にたくさん参加するのは意味があると思います。教育センターでは、「科学教室」や「子ども科学カレッジ」などの実験教室がありますし、文京区は場所がいいので、都内の色々な科学館にも行ってほしいですね。

こうした体験型のものは印象にも残るのでいいと思います。海外では、科学館がとても充実していて、家族みんなで科学館に遊びに行きます。なので、お父さん・お母さんが「私は興味がないから」ではなく、分からなくてもいいので、そこで起きている現象と一緒に楽しむことが大切だと思います。

もう1つは、身近なものの仕組みに興味を持ってほしい。例えば、スマートフォンは「どうして線につながっていないのに話せるの?」とか、「どうやってこの情報は来たの?」とか。あって当たり前で、中身を考えないという思考回路ではなく、これはどうやって動くのかな?って、どこかにその秘密は隠れている。子どもたちには、探偵みたいな気持ちになってほしい。それが理科が好きになるための第一歩だと思います。



🔍 最後に子どもたちにメッセージをお願いします。

自分の興味のあるものを“とことん”やってほしいと思います。課題が見つかるころまでとことんやってみて、課題を乗り越えていってほしいですね。スポーツでも、絵を描くことでも、工作でもなんでもいいんです。とことんやってみるということぜひ体験してほしい。

そこで生まれる苦しさを越えることが一番大切で、その成功体験があれば、将来その次の課題があったときにも胸を張って向かっていけるとと思います。

🔍 教育センターへ行ってみよう!

教育センターでは、インタビュー内で紹介のあった教室以外にも自然科学や情報科学の様々な教室を開催しています。ぜひご参加ください。

自然科学教育事業

やってみましょう楽しい実験、親子理科教室、科学教室、子ども科学カレッジ

情報科学教育事業

子どもパソコン教室、キッズプログラミング体験講座、ジュニアプログラミング開発体験講座

※各教室の日程・申し込み方法については、教育センターホームページをご覧ください。



教育センター科学教育事業担当 ☎(5800)2591



🔍 小川委員、お忙しい中、ありがとうございました。🔍

文京区には、まだまだ魅力的な教育委員がいます。今後も紹介していきますので、お楽しみに! 教育総務課 ☎(5803)1291

🔍 図書館の魅力的な視聴覚コレクション

23区の公共図書館の視聴覚資料数ランキング

1位	文京区 / 所蔵数 156,555
2位	大田区 / 所蔵数 112,279
3位	練馬区 / 所蔵数 103,247

(出典)平成30年度東京都公立図書館調査 (平成30年4月1日現在)

文京区の視聴覚サービス

「視聴覚資料」とはCD、カセットテープ、レコードなどの音響資料とDVD、ビデオテープなどの映像資料の総称です。昭和41年(1966年)から小石川図書館でレコードの提

供を開始しました。その後、CDの収集にも力を入れて所蔵数だけでなく内容についても都内1番のコレクションとなりました。DVDは、著作権により図書館での購入を許諾される資料は限られていますので、名作やドキュメンタリーものを中心に収集しています。

魅力的なレコードコレクション

音楽の聴き方が多様化していくなか、23区の各図書館からレコードは消えていきましたが、



小石川図書館のレコード室

小石川図書館の「レコード室」には、約2万枚のレコードが残りました。これは長く区の視聴覚資料が、利用者と職員に愛されてきた結果です。今では雑誌の「特色のある図書館特集」などでも紹介される区の宝となりました。レコードは試聴可能です。

CDも購入希望できます!

図書だけでなく国内盤のCD(シングル・ミニアルバムは不可)は、予約点数内で購入希望を出すことができます。区の図書館コレクションにおすすめのCDをぜひご紹介ください!

真砂中央図書館 ☎(3815)6801



区立児童館を紹介します



このコーナーでは、区立児童館を紹介します。
第3回目は水道児童館です。

水道児童館へようこそ



住所 水道1-3-26
開設 昭和45年12月15日
電話 (3812)2238

水道児童館は…

水道児童館は、水道保育園と併設の建物の2階、3階にあります。2階には図書室、工作室、育成室があり、3階にはホールと屋上があります。ここで毎日たくさんのお子たちが楽しく活動しています。

午前の活動

午前中は乳幼児親子が遊びに来てくれます。ホールではコンピカー、図書室では電車のおもちゃやミニカーで遊んでいます。月・火・金曜の活動は年齢制限のない「なかよしタイム」と「なかよしリズム」があります。パンダちゃん体操では、手を胸に合わせて可愛いポーズをとり、名前を呼ぶと元気に手が拳がります。体操も手遊びもお返事も上手になりました。木曜は2歳児以上を対象とした「ちびっこあつまれ」があります。忍者ごっここの企画では、保護者の後ろに隠れる「隠れ身の術」やゆっくり歩く「忍び足の術」、折り紙で作った手裏剣を上手に投げました。



「ちびっこあつまれ」忍者ごっこの様子

午後の活動

育成室のお子たちが「ただいま」と帰ってきて、児童館来館のお子たちは「こんにちは」と遊びに来ます。「ねえ、ホール！」とお子たちの声。それは「ホールで遊びたい！」ということです。ホールの大人気は三歩あて。三歩あてとはボールを取ったら三歩以内で投げる、当てられたらアウト。アウトになっても自分を当てた人がアウトになると復活できます。

「カイセendon！」のかけ声でボールを投げて始まります。ボールを追いかけたり、ボールを取ると「いちにさん！」で投げます。アウトになったお子たちからは「〇〇当てて〜」と自分を当てた人の名前を呼ぶ大きな声が響きます。低学年はトコトコと歩きすぎてしまうこともありますが、そこはご愛嬌。高学年は体が大きいので迫力満点。ボールから逃げようと走る音は2階の図書室にいる子

どもが「地震？」と驚くほどです。扉にボールが当たる音は「今日も絶好調」という感じで20~30人のお子たちが参加し、体を動かしています。ほかにも、卓球やドッチボールも人気で屋上ではサッカーや一輪車で遊んでいます。

工作室では「今日の工作なあに？」とのぞきにきては子どもの発想を膨らませます。月1回の将棋トーナメントは静かな空間の中でじっくりと対戦します。

居心地の良い場所を目指して

保護者の方から「小さいときに児童館に遊びに来ていました」と声をかけられることがあります。児童館来館児も「自分の子どももここで過ごさせたい」と言ってくれます。

地域に根ざし、幼児から高校生まで楽しいことを探したり、自分のやりたいことを見つけたり、児童館が居心地の良い場所、心身ともにのびのび過ごせる『居場所』でありたいと思います。ぜひ、遊びにきてください。



昨年のちびっこあつまれ運動会万国旗は小学生が書いてくれました。

小学校における「学びの教室」の拠点校が増えます

区立小学校では、29年度から特別支援教室「学びの教室」(以下「学びの教室」)を設置しています。拠点校2校の巡回指導教員が各校の「学びの教室」を巡回して指導することにより、児童は、それまで通級指導学級で受けてきた特別な指導(障害による学習上または生活上の困難を改善・克服する指導)を、在籍校で受けられるようになりました。

拠 点 校	→	巡 回 校
関 口 台 町 小	→	青 柳 小
小 日 向 台 町 小	→	礪 川 小、窪 町 小
金 富 小	→	柳 町 小、大 塚 小
根 津 小	→	林 町 小
千 駄 木 小	→	明 化 小、誠 之 小
昭 和 小	→	指 ヶ 谷 小、駕 籠 町 小
駒 本 小	→	汐 見 小
本 郷 小	→	湯 島 小

それぞれ矢印の先の学校へ巡回指導を行います。

また、31年度からは拠点校を2校から8校に増やします。区の特別支援教育の充実に向けて、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

教育指導課特別支援教育担当 ☎(5803)1298

お茶いれ名人への道

第三中学校では、12月8日(土)にお茶^{どころ}処静岡県牧之原市の職員を講師に招き、日本茶教室を開催しました。日本茶の歴史、文化、生活の位置づけを学び、おもてなしの心を育みました。

お茶を上手に入れるワザを身につけると、和食をおいしく楽しむことができ、周囲の人にも喜ばれます。さらに日本文化の一つとして海外の人々に伝えることもできます。



おいしいお茶の入れ方を教えてもらっている様子

学務課給食担当 ☎(5803)1299

学校給食おすすめレシピ

秋鮭わかめみそ焼き

2学期の「和食の日」に実施した献立から、秋が旬の鮭のおかずを紹介します。コクのあるわかめみそが、ごはんによく合います。



★材料(4人分)

- ・生鮭 4切れ
- ・塩 小さじ1/4
- ・生わかめ 6g (乾燥わかめ1g)
- ・たまご 1/2個
- ・みそ 小さじ2強
- ・砂糖 小さじ2
- ・ごま油 小さじ1

★作り方

- ①鮭は全体に塩を振っておく。
- ②生わかめは水につけて戻し、粗めのみじん切りにする。
- ③わかめ〜ごま油をあわせて、わかめみそを作る。
- ④鮭を魚焼きグリルで9割ほど焼く。
- ⑤鮭の上に③をのせ、焼き目が付くまで焼く。

★ポイント

- ・オーブントースターやオープンでも。焼く温度や時間は調整してください。

学務課給食担当 ☎(5803)1299

大塚小学校

所在地 大塚4-1-7
開校 昭和29年4月

ここが特徴

大正9年に前身校である東京市立大塚尋常小学校として創立しましたが、昭和20年に戦災で焼失し、翌年には廃校となりました。その後、地域の方々の学校再建への熱い思いにより、昭和29年に現在の文京区立大塚小学校として再び開校し、今年度で創立64周年を迎えます。当時の学校に対する保護者や地域の方々の熱意と愛情は、現在も受け継がれ、地域に根差した教育を行っています。

保護者・地域との連携

学校支援地域本部におけるスクールガード活動として、多くの保護者や地域の方々の協力により、集団登校を実施しています。児童に声をかけてくださる地域の方も多く、地域全体で児童を見守る体制が、児童の安全に繋がっていることを実感しています。

大塚小学校学校支援地域本部は、これまでの様々な学校への支援活動が評価され、東京都教育委員会感謝状の贈呈団体として、PTAは30年度秋の交通功労者等表彰の優良小中学校PTAとしてそれぞれ表彰されました。

オリンピック・パラリンピックに向けた取組み

29・30年度、東京都が顕彰する「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」として、多くのオリンピック、パラリンピックの方に来ていただきました。児童は、パラリンピックのメダルの中には小さなスチールの球が入っており、色によって数が異なることや点字が刻まれていることを、実際に聞いて、触って体験しました。こうした多くの体験を通じて障害者理解やボランティアマインド等を深めています。

最後に一言

近年、児童数が増加傾向にあります。が、「小規模校のメリットを最大限に生かすチーム大塚」をキーワードとして、児童を中心に学校、地域、家庭が一体となって児童の成長を支えていきます。



集団登校の様子

第九中学校

所在地 本駒込3-28-9
開校 昭和22年4月

ここが特徴

閑静な住宅街に囲まれた本駒込地域に位置し、コミュニティ・スクールとして全校生徒300人以上を誇る大規模の学校です。「活力みなぎる学校づくり」「かけがえのない仲間づくり」「一人一人の個性を尊重することができる学校づくり」を目標に、安心して自分の力を発揮できる環境のもと、互いに認め合い、支え合い、高め合うことで学校生活をより良くしていこうとする素晴らしい伝統があります。

また、早朝の体育的活動「RUNRUN(ランラン)倶楽部」や漢字、英語、数学の各種検定受験に向けた「検定学習会」、大学生などのサポートによる「九中学校相談室・自習室」など、学校支援地域本部との協働で、生徒の自主的な取組を応援する場を数多く設けています。

活気あふれる部活動

運動系、文化系を合わせて15の部活動があり、9割以上の生徒が加入しています。区内有数の広さの体育館や土の校庭、武道場などの施設に恵まれ、特に運動部は思い切り活動に励むことができます。どの部も先輩、後輩の仲が良く、楽しく充実した雰囲気の中で活動に取り組み、技術や個性を伸ばしています。

オリンピック・パラリンピックに向けた取組み

東京都教育委員会から「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」の指定を受け、オリンピック・パラリンピアンなどから直接学ぶ交流・講演会を数多く実施し、「努力の大切さ」や「公正な態度」などのオリンピック・パラリンピックの価値を生かした教育を推進しています。

最後に一言

生徒も保護者も「通ってよかった」と実感できる学校づくりを目指し、教職員一丸となって取り組んでまいります。



パラリンピアンによる交流・講演会

区立小・中学校、幼稚園を紹介します

区立学校・幼稚園の特色を紹介するこのコーナー。今号もたくさんの魅力をお届けします。

湯島小学校

所在地 湯島2-28-14
開校 明治4年12月

ここが特徴

湯島小学校は開校147周年を迎える東京都で最も歴史のある学校の一つです。「学校がすき まちがすき 誇り高き 湯島の子」を育てるために、地域の歴史・伝統を児童の学びに生かし、「まちと響き合う湯島の教育」を進めています。

特に力を入れている教育活動について

湯島小学校は、ICT(情報通信技術)教育・プログラミング教育の研究校として新たなカリキュラムを開発しています。児童は一人一台のタブレット端末を必要に応じて活用し、協働学習・個別学習を充実させています。また、全児童が家族と相談して「家庭eルール」を作成したり、6年生が卒業制作で「湯島eルール」を作成・発表したりするなど、情報モラルの育成にも力を入れています。

地域との関わり

地域には、学問にゆかりのある湯島天満宮、湯島聖堂、東京大学などがあり、さまざまな連携をしています。湯島天満宮の菊まつりには、4年生が保護者・地域の方々と作った菊を飾っていただきました。また、オランダ大使館からいただいたチューリップの球根を全校で育て、新花公園の景観を彩るなど、子どもたちは「花育」を通して、地域を大切にすることを育んでいます。

オリンピック・パラリンピックに向けた取組み

毎年、スピードスケートやシンクロ、車椅子ラグビーなど、さまざまな競技で活躍したオリンピック・パラリンピアンを講師に招き、体験を交えた特別授業を行っています。また、アメリカのコロラド州の小学生に、東京の様子を紹介するデジタルパンフレットをプログラミングして、プレゼントする予定です。

最後に一言

保護者・地域の皆様と力を合わせ、子どもたちが夢をもち、その夢に向かって挑戦し続ける力を育ててまいります。



プログラミング学習キットを使って学ぶ子どもたち

本駒込幼稚園

所在地 本駒込4-35-15
開園 昭和49年4月

ここが特徴

不忍通りからほんの少し奥へ入っただけの場所に、自然豊かな幼稚園が現れます。桜やいちょう、園のシンボルツリーせんだんなどの木々に囲まれ、マスコットキャラクター「せんだんふたばちゃん」は園児の人気者です。季節ごとに、柿・ぶどう・ざくろ・夏みかん・こうぞなどが豊かに実り、敷地の一角の自然園にはカエルやメダカの姿が見られます。自然探検なども行われ、四季の変化を感じることができる幼稚園です。

また、本駒込幼稚園は、勤労福祉会館、図書館、育成室、都営住宅との複合施設の1階にあります。ワンフロアに年少・年中・年長の各部屋が並べられ、全て園庭に面しているため、外遊びと室内遊びの移行がスムーズにできます。広いホールやプール、預かり保育に使用する部屋もあり、ゆったりとした環境で園児は過ごしています。

地域との関わり

勤労福祉会館の体育館では、土曜参観の親子ふれあい遊びや近隣の保育園と合同で運動遊びを行いました。また、隣の神明都電車庫跡公園は、降園後の人気の遊び場になっています。

周辺の小・中学校、町会の皆さんとの交流も盛んで、地域全体が園児を温かく見守り、幼稚園を支えています。

オリンピック・パラリンピックに向けた取組み

インドネシアの影絵や獅子舞の鑑賞など、世界と日本の伝統芸能にふれる機会を設けました。

また、運動遊びや手話の講師を招き、豊かな体験ができるようにしました。

最後に一言

今年、開園45周年を迎える本駒込幼稚園は、温かさ、優しさが溢れる「わくわくがいっぱいの幼稚園」です。



友達としゃぼ取りをして楽しむ子どもたち

編集後記

今回は、お茶の歴史やお茶の入れ方等を学ぶ取組みについて、取り上げました。お茶にはさまざまな種類があるだけでなく、入れ方によっても味が異なり、奥が深いです。皆さんもぜひ、季節や

気分に合わせて、入れ方を変えてみてはいかがでしょうか。次号以降も、教育にまつわる素敵な話題を皆さんにお届けしますので、ご期待ください！